

平成 20 年 度

小学校教員資格認定試験

教職に関する科目 (Ⅱ)

音 楽

注 意 事 項

受験者は、下記注意事項によること。それ以外の注意事項は試験実施大学の指示によること。

1. 試験監督者の「始め。」の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
2. 実施大学名、氏名、受験番号、受験科目を平成 20 年度「小学校・幼稚園教員資格認定試験 解答カード」(以下、「解答カード」という。)の指定された欄に必ず記入してください。
3. 受験番号、受験科目をマークしてください。

ただし、受験科目のマークについては、小学校の受験科目欄にマークしてください。

4. 解答カードの中で特に受験番号、受験科目の欄の記入及びマークを間違えると失格になるので注意してください。
5. 解答は、すべて解答カードの解答欄にマークで記入してください。問題冊子に答えを書いても無効です。

6. マークは必ず鉛筆を使用して、枠内にきちんと記入してください。

訂正する時は、消しゴムで完全に消してください。また、解答カードを曲げたり折ったりしてはいけません。

解答カードが汚れた場合や折れてしまった場合は、試験監督者に解答カードの交換を申し出てください。

7. この試験の解答時間は、「始め。」の合図があつてから 50 分です。
8. 試験が終わるまで退室できません。
9. 試験監督者の「やめ。」の合図があつたら、直ちにやめてください。
10. 下書きには問題冊子の余白を使用してください。
11. 試験終了後、問題冊子を持ち帰っても構いません。

[マーク例]

(よい例) ●

(悪い例) ⊙ ⊗ ⊕ ⊖

※ 以下の問いでは『小学校学習指導要領』とは『小学校学習指導要領』(平成10年文部省告示第175号, 平成15年文部科学省告示第173号・一部改正)第2章第6節「音楽」を指すものとする。

問1 次の文は『小学校学習指導要領』の「第1 目標」として示されているものである。空欄()に当てはまる語句を, 下のアからオの中から一つ選んで, 記号で答えなさい。

表現及び鑑賞の活動を通して, 音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育てるとともに, 音楽活動の()を培い, 豊かな情操を養う。

- | | | |
|----------|----------|----------|
| ア 積極的な態度 | イ 意欲的な態度 | ウ 基礎的な技能 |
| エ 基礎的な能力 | オ 豊かな表現力 | |

問2 『小学校学習指導要領』の「第2 各学年の目標及び内容」[第1学年及び第2学年]の「2 内容」の「A 表現」に示されていないものを, 下のアからオの中から一つ選んで, 記号で答えなさい。

- ア 歌い方や楽器の演奏の仕方を身に付けるようにする。
- イ 音楽を聴いて演奏できるようにする。
- ウ 楽曲の気分や音楽を特徴付けている要素を感じ取って, 工夫して表現できるようにする。
- エ 音楽をつくって表現できるようにする。
- オ 音楽を聴いたり楽譜を見たりして演奏できるようにする。

問3 『小学校学習指導要領』の「第2 各学年の目標及び内容」[第1学年及び第2学年]の「1 目標」に掲げられているものを, 下のアからオの中から一つ選んで, 記号で答えなさい。

- ア 音の重なりや和声の響きに重点を置いた活動を通して, 基礎的な表現の能力を高め, 音楽表現の喜びを味わうようにする。
- イ 音楽の楽しさを感じ取って聴き, 様々な音楽に親しむようにする。
- ウ 創造的に音楽にかかわり, 音楽活動への意欲を高め, 音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにする態度と習慣を育てる。
- エ 旋律に重点を置いた活動を通して, 基礎的な表現の能力を伸ばし, 音楽表現の楽しさを感じ取るようにする。
- オ 音楽の美しさを味わって聴き, 様々な音楽に親しむようにする。

問 4 『小学校学習指導要領』の「第2 各学年の目標及び内容」〔第5 学年及び第6 学年〕の「2 内容」の「B 鑑賞」に示されているものを、下のアからオの中から一つ選んで、記号で答えなさい。

- ア 曲想を全体的に味わって聴くこと。
- イ リズム、旋律及び速さに気を付けて聴くこと。
- ウ 主な旋律の反復や変化、副次的な旋律、音楽を特徴付けている要素に気を付けて聴くこと。
- エ 楽器の音色及び人の声の特徴に気を付けて聴くこと。また、それらの音や声の組み合わせを感じ取って聴くこと。
- オ 楽曲の気分を感じ取って聴くこと。

問 5 『小学校学習指導要領』の「第2 各学年の目標及び内容」〔第3 学年及び第4 学年〕の鑑賞教材の取り扱いの観点として示されているものを、次のアからオの中から一つ選んで、記号で答えなさい。

- ア 音楽の構成及び音や声の重なりによる響きの特徴を感じ取り、聴く喜びを深めやすい楽曲
- イ 児童にとって親しみやすい、いろいろな演奏形態による楽曲
- ウ 劇の音楽、管弦楽の音楽、郷土の音楽、人々に長く親しまれている音楽など、いろいろな種類の楽曲
- エ 行進曲、踊りの音楽、身体反応の快さを感じ取りやすい音楽など、いろいろな種類の楽曲
- オ 日常生活に関連して、情景を思い浮かべやすい楽曲

問 6 次の文は『小学校学習指導要領』の「第2 各学年の目標及び内容」〔第3 学年及び第4 学年〕の「2 内容」の「A 表現」に示されたものである。空欄()に当てはまる語句を、下のアからオの中から一つ選んで、記号で答えなさい。

拍の流れやフレーズ、()を感じ取って演奏したり身体表現をしたりすること。

- ア 音の重なりや和声の響き
- イ 歌詞の表す情景
- ウ 音の組合せの工夫
- エ 強弱や速度の変化
- オ 互いの歌声や楽器の音

問 7 『小学校学習指導要領』の「第 2 各学年の目標及び内容」〔第 5 学年及び第 6 学年〕の「2 内容」の「A 表現」に示されていないものを、下のアからオの中から一つ選んで、記号で答えなさい。

- ア 階名で模唱や暗唱をしたり、リズム譜に親しんだりすること。
- イ 範唱や範奏を聴いて演奏すること。
- ウ 歌詞の内容や楽曲の構成を理解して、それらを生かした表現の仕方を工夫すること。
- エ 自由な発想を生かして表現し、いろいろな音楽表現を楽しむこと。
- オ 呼吸及び発音の仕方を工夫して、豊かな響きのある、自然で無理のない声で歌うこと。

問 8 次の文は『小学校学習指導要領』の「第 2 各学年の目標及び内容」〔第 1 学年及び第 2 学年〕の「2 内容」〔A 表現〕(5)のアに示されているものである。空欄()に当てはまる語句を、下のアからオの中から一つ選んで、記号で答えなさい。

主となる歌唱教材については、各学年ともウの共通教材の中の 3 曲を含めて、()で歌う楽曲

- ア 斉唱及び合唱
- イ 輪唱及び合唱
- ウ 輪唱及び簡単な合唱
- エ 斉唱及び簡単な合唱
- オ 斉唱及び輪唱

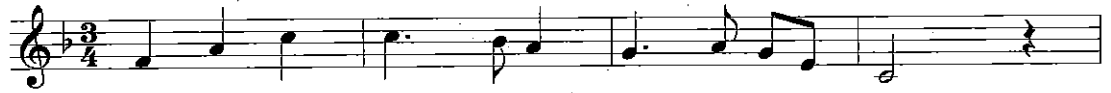
問 9 『小学校学習指導要領』の「第 3 指導計画の作成と各学年にわたる内容の取扱い」に示されていないものを、下のアからオの中から一つ選んで、記号で答えなさい。

- ア 第 1 学年及び第 2 学年で取り上げる身近な楽器は、様々な打楽器、オルガン、ハーモニカなどの中から児童の実態を考慮して選択すること。
- イ 歌唱の指導における階名唱については、移動ド唱法を原則とするが、必要に応じて固定ド唱法を用いてもよい。
- ウ 国歌「君が代」は、いずれの学年においても指導すること。
- エ 低学年においては、生活科などとの関連を図り、指導の効果を高めるようにすること。
- オ 和音及び和声の指導については、合唱や合奏の活動を通して和音のもつ表情を感じ取ることができるようになること。また、長調及び短調の楽曲においては、I、IV、V及びV₇を中心に指導すること。

問10 『小学校学習指導要領』の「第 2 各学年の目標及び内容」〔第 1 学年及び第 2 学年〕の歌唱共通教材について、曲名と作曲者の組合せが正しくないものを、下のアからオの中から一つ選んで、記号で答えなさい。

- | | | | |
|------------|-------|------------|------------|
| ア 「うみ」 | …………… | いのうえ
井上 | たけし
武士 |
| イ 「日のまる」 | …………… | おかの
岡野 | ていいち
貞一 |
| ウ 「かくれんぼ」 | …………… | しもふさ
下総 | かんいち
皖一 |
| エ 「春がきた」 | …………… | はしもと
橋本 | くにひこ
国彦 |
| オ 「夕やけこやけ」 | …………… | くさかわ
草川 | しん
信 |

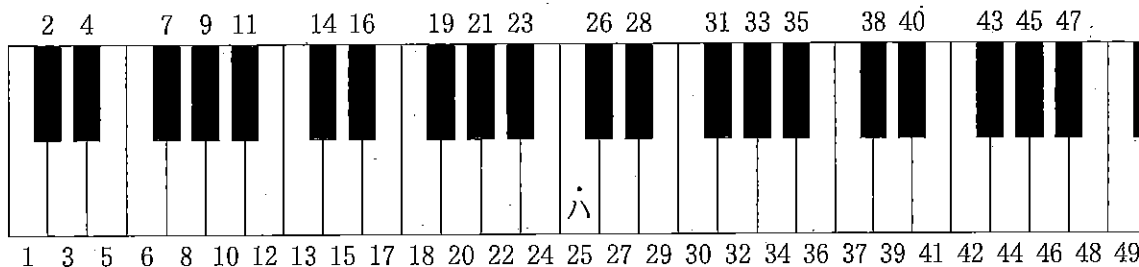
問11 次の楽譜は、歌唱共通教材「冬げしき」の冒頭部分である。これを1オクターブ低く、ヘ音記号を用いて書き表した場合、正しいものを、下のアからオの中から一つ選んで、記号で答えなさい。



問12 次のアからオの文のうち、正しいものを一つ選んで、記号で答えなさい。

- ア ワルツはスペインで起こった三拍子の舞曲である。
- イ メヌエットはフランスで起こった二拍子の舞曲である。
- ウ ガボットはドイツで起こった三拍子の舞曲である。
- エ マズルカはポーランドで起こった三拍子の舞曲である。
- オ ボレロはアメリカで起こった二拍子の舞曲である。

問13 次の楽譜に示された和音を^{鍵盤}で弾く場合、正しい鍵盤の番号の組合せを、下のアからオの中から一つ選んで、記号で答えなさい。



- ア 13・25・23・29・32
- イ 1・13・35・41・44
- ウ 13・25・35・41・44
- エ 1・13・24・29・32
- オ 1・13・23・29・32

問14 次の音楽用語の中で、速度の変化を意味するものを、下のアからオの中から一つ選んで、記号で答えなさい。

ア rit.

イ *pp*

ウ cresc.

エ Presto

オ dolce

問15 次の楽譜は、第4学年の歌唱共通教材「とんび」の冒頭部分の旋律を示したものである。第3小節目の空白部分に入る正しい旋律を、下のアからオの中から一つ選んで、記号で答えなさい。

(著作権の関係で表示できません。)

問16 次のアからオの楽器のうち、金管楽器ではないものを一つ選んで、記号で答えなさい。

- ア トランペット
- イ ファゴット
- ウ ホルン
- エ トロンボーン
- オ チューバ

問17 次のアからオの楽器のうち、管楽器を一つ選んで、記号で答えなさい。

- ア ひ琵琶
- イ しょう笙
- ウ かつ鞆こ鼓
- エ もろ箏
- オ こ胡きゅう弓

問18 次の作曲者の中でドイツ生まれではない人物を一つ選んで、記号で答えなさい。

- ア J. S. バッハ (1685 ~ 1750)
- イ F. ブルクミュラー (1806 ~ 1874)
- ウ R. シューマン (1810 ~ 1856)
- エ J. ブラームス (1833 ~ 1897)
- オ B. ブリテン (1913 ~ 1976)

問19 次のアからオの文は、調と和音の関係について述べたものである。正しいものを一つ選んで、記号で答えなさい。

- ア ハ長調の属和音は、短三和音である。
- イ ハ長調の第Ⅱ音上の和音は、減三和音である。
- ウ イ短調の下属和音は、短三和音である。
- エ イ短調の第Ⅵ音上の和音は、短三和音である。
- オ イ短調の第Ⅱ音上の和音は、増三和音である。

問20 次のアからオの語句の組合せのうち、曲種の成立年代が古い順に示されているものを一つ選んで、記号で答えなさい。

- ア ミサ曲 → オペラ → 交響曲 → 交響詩
- イ オペラ → ミサ曲 → 交響曲 → 交響詩
- ウ ミサ曲 → オペラ → 交響詩 → 交響曲
- エ ミサ曲 → 交響曲 → オペラ → 交響詩
- オ オペラ → 交響詩 → ミサ曲 → 交響曲